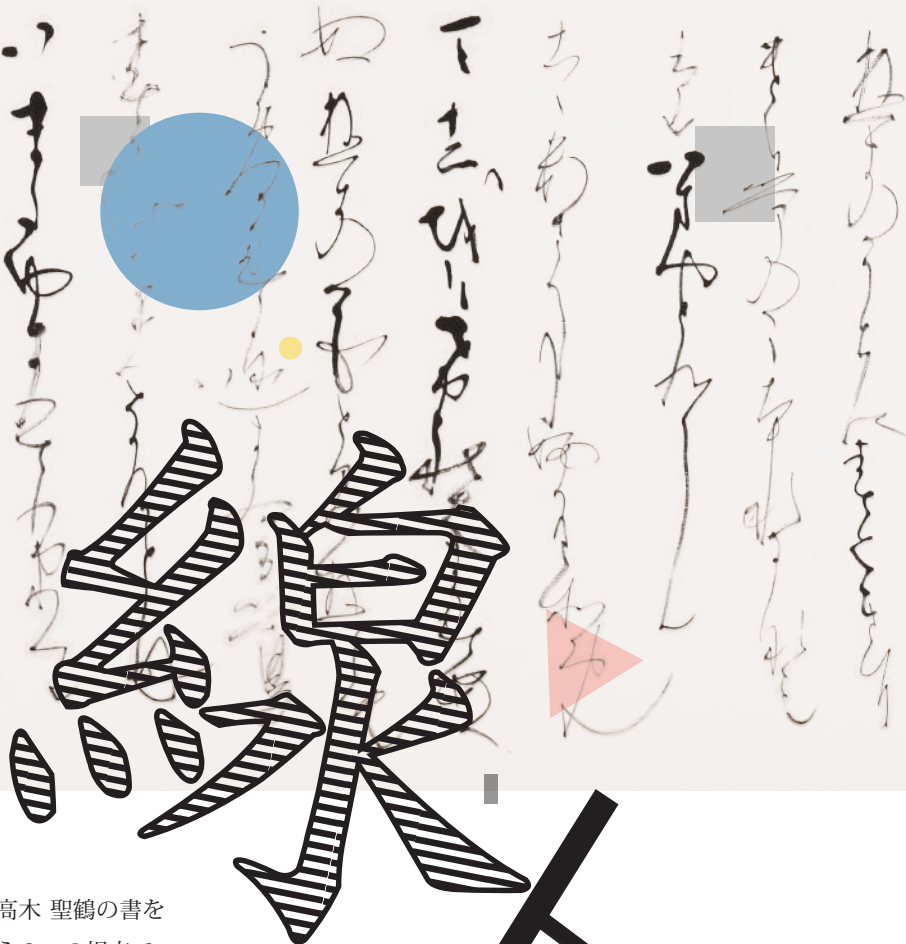
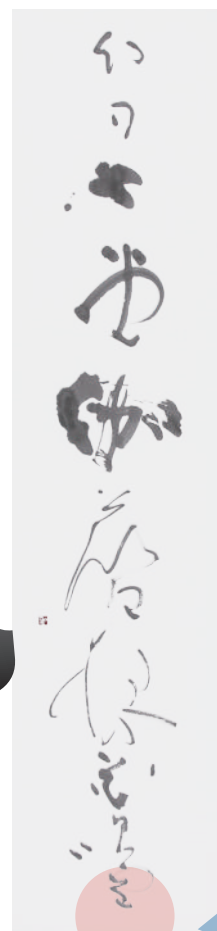
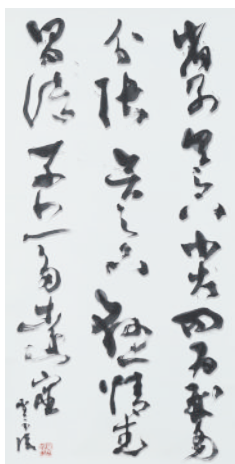


高木聖鶴展(後期)



総社市が誇る偉大な書家・高木 聖鶴の書を
中心に、「線」と「色」という2つの視点で、
総社市ゆかりの書や絵画をご紹介します。

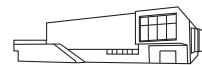


令和6年

1月27日(土) ~ 3月10日(日)

総社吉備路文化館 (〒719-1123 岡山県総社市上林1252)

- ◆入館料 無料 ◆休館日 毎週月曜日 ◆TEL 0866-93-2219
- ◆開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- ◆主催 総社市、総社市教育委員会、公益財団法人 総社市文化振興財団
- ◆学芸員によるギャラリートーク 2月11日(日)、3月10日(日) 両日13:30~



総社吉備路文化館



公式HP



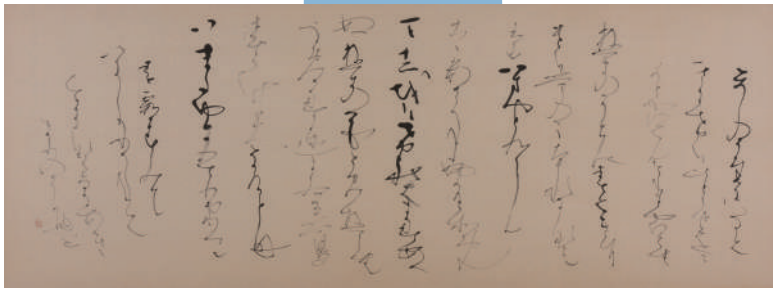
公式X



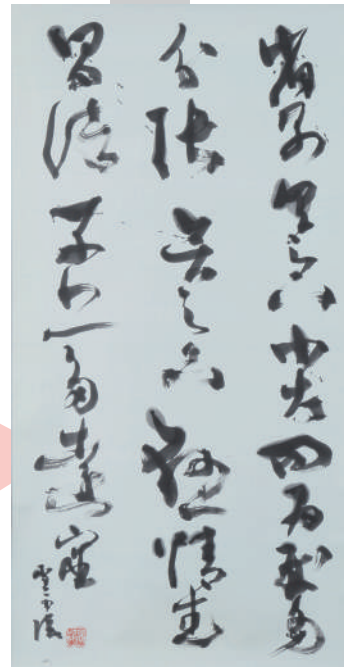
Facebook

※画像最上段から時計回りに ①高木聖鶴《春と秋》(部分)、②高木聖鶴《幻の》(部分)、③高木聖雨《躍如》(部分)、④高木聖雨《臨米芾》(部分)
①は(公財)総社市文化振興財団蔵 ②~④は総社市蔵

「線」と「色」—2つの視点で、高木 聖鶴の書を中心とする 総社ゆかりの作品を見てみませんか。



①



④



⑤



②



③



総社市名誉市民で平成 18 年（2006）に文化功労者、平成 25 年（2013）に文化勲章を受章した我が国を代表するかな書家・故 高木 聖鶴氏は、大正 12 年（1923）総社市に生まれ、郷土が誇る偉大な芸術家として、生誕 100 年を経てもなお多くの市民に慕われています。この展覧会は、高木氏の書における、繊細優美で流れるような墨の「線」と、黒一色ではない、濃淡やにじみの風合いを巧みに使い分けた墨の「色」という 2 つの特色をテーマとしています。総社市と（公財）総社市文化振興財団が所蔵する高木 聖鶴氏と高木 聖雨氏の書作品を中心に、絵画や版画などの総社ゆかりの作品たちも合わせて 2 つの視点からご紹介します。

ルネサンス期のイタリア絵画を評するとき、フィレンツェ派は「線」の絵画で、ヴェネツィア派は「色彩」の絵画といわれることがあります。「線」と「色」という見方は、ある意味では西洋美術的な見方なのかもしれません。高木 聖鶴氏の書をはじめとする、総社市ゆかりの作品たちは、はたしてどのように見えてくるのでしょうか？

会期中イベント

学芸員によるギャラリートーク：2月11日（日）、3月10日（日） 両日ともに 13:30～ 事前申し込み不要、参加無料

- ① 高木 聖鶴《春と秋》（公財）総社市文化振興財団蔵
- ② 満谷 国四郎《少女》（公財）総社市文化振興財団蔵
- ③ 高木 聖雨《躍如》総社市蔵
- ④ 高木 聖雨《臨米市》総社市蔵
- ⑤ 高木 聖鶴《幻の》総社市蔵



総社吉備路文化館 〒719-1123 岡山県総社市上林 1252

TEL 0866-93-2219

開館時間 9:00～17:00（入館は 16:30 まで）

休館日 毎週月曜日

HP：http://www.city.soja.okayama.jp/bunka/bunka_sport/hakubutu/soja_kibiji_bunkakan.html

アクセス

備中国分寺北側の駐車場から歩いて約 10 分
駐車場までのアクセスは次のとおりです。

◆ 電車で
JR 伯備線、JR 桃太郎線、井原鉄道
「総社駅」からタクシーで約 15 分

◆ 車で
岡山自動車道 岡山総社 IC から約 15 分
山陽自動車道 倉敷 IC から約 15 分

※ カーナビをご利用の場合は、「岡山県総社市上林 1112 吉備路風土記の丘県営北駐車場」を目的地に設定していただき、駐車場からは徒歩でご来館ください。駐車場からも、案内看板がございます。



施設近くの道は大変狭く、お車での通行に危険を伴う場合があります。広い道に面した県営駐車場への駐車にご協力をお願いいたします。